

令和7年第2回3月定例会一般質問

質問予定日及び質問順

質問予定日	質問順	議席番号	質問者	要綱 ページ
3/3	1	13	後 藤 誠 司	2
	2	20	齋 藤 仁 一	2
	3	19	佐 原 正 秀	3
	4	9	小 島 雄 一	4
3/4	5	12	渡 部 一 樹	5
	6	5	山 口 文 章	5
	7	6	十二村 秀 孝	6
	8	8	菊 地 とも子	7
3/5	9	3	坂 内 まゆみ	7
	10	7	遠 藤 吉 正	9
	11	2	田 中 修 身	9
	12	10	矢 吹 哲 哉	10
3/6	13	1	渡 部 忠 寛	11
	14	15	齋 藤 勘一郎	14
	15	4	高 畑 孝 一	14
	16	21	山 口 和 男	15

一 般 質 問 要 綱

令和7年第2回3月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
1	13	後 藤 誠 司	1 「マイナ保険証」の利用状況について 昨年12月2日から、国民健康保険制度や後期高齢者医療制度において、「紙の保険証」の発行が廃止され、「マイナ保険証」に一本化されました。 その後の利用状況について、以下の点を伺います。 (1) 本市での「マイナ保険証」の利用状況について ア 本市での「マイナ保険証」の利用割合を伺います。 イ 本市の医療機関及び薬局の取組を伺います。 (2) 本市のマイナンバーカード取得割合を伺います。 (3) 「マイナ保険証」のメリットとデメリットについて伺います。 (4) 「マイナ保険証」を有していない方への、国民健康保険証及び後期高齢者医療保険証の有効期限後の対応について伺います。 (5) 国民健康保険税滞納者への短期証及び資格証明書が発行されなくなることの影響を伺います。 2 運転免許証自主返納者支援事業について 近年、高齢者による交通事故が増加する中、運転免許証自主返納者支援事業は大変良い施策と考えます。 そこで、以下の点を伺います。 (1) 令和4年度から令和6年度までの運転免許証自主返納者支援事業の執行状況を伺います。 ア 過去3年間の申請者数を伺います。 イ 過去3年間の予約型乗合交通回数券及びタクシー助成券の交付実績と執行実績を伺います。 (2) 喜多方市運転免許証自主返納者支援事業要綱にある「1回の支払いにつき、タクシー助成券を使用できる枚数は4枚（1,600円分）までとする」という項目の緩和の考えがないか伺います。
2	20	齋 藤 仁 一	1 財政健全化について (1) 中期財政計画が示されているが、その計画どおりに進んでこなかった原因は何か。特に、経常収支比率の悪化、財政調整基金と減債基金の積立額の減少の要因は何か伺いたい。 (2) 各事業の実施に際し、歳入確保は重要である。市はどのような対応・対策をしてきたのか伺いたい。 (3) 財政健全化に向けた取組として「財政健全化プラン（仮称）」を策定する方針を示したが、5つの視点（歳入の確保、事業全般の見直し、総人件費の抑制、各種補助金等の見直し、公共施設の在り方の見直し）の具体的な取組内容について伺いたい。 (4) 財政健全化プラン（仮称）の策定について、どのような体制で取り組むのか伺いたい。 (5) 今後予定されている喜多方地方広域市町村圏組合を含めた大型事業について、財源確保及び今後のスケジュールについて伺いたい。 2 訪問介護について

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(1) 2022年度～2024年度の喜多方市の訪問介護を行っている事業者数及びヘルパー数の推移はどうなっているのか伺いたい。 (2) 廃止された事業者の要因は何か伺いたい。 (3) 2022年度～2024年度の市のヘルパー養成の実態と介護施設への就職者数はどうなっているのか伺いたい。 (4) 2022年度～2024年度の要介護認定者数及び利用件数について伺いたい。 (5) 2022年度～2024年度の介護予防訪問介護相当サービスの利用割合を含めた利用件数について伺いたい。 (6) 本年度4月から訪問介護報酬の引下げが行われ、訪問介護事業所の倒産と介護人材不足に拍車をかけているとの指摘がある。この介護報酬引下げの見直しを国に働きかけるべきと考えるが、市の考えを伺いたい。
			3 ひとつくり・交流拠点複合施設整備事業（第二期工事）について (1) この事業について、2025年度基本計画・基本設計の一部見直し、2026年度実施設計との見通しであるが、このスケジュールでよいのか伺いたい。 (2) 見直しに当たって、「整備コンセプトは維持しつつ」とあるが、建設場所も含め根本的な見直しが必要と考えるが、伺いたい。 (3) 財源の見通しについて伺いたい。
3	19	佐原正秀	1 新たな仕組みの取組について 各行政においては、デジタル技術や外部リソースを取り入れたり、執務室の環境を改善したりして、積極的な業務効率化が進められています。そこには、これまで以上に住民サービスの質を向上させるのはもちろん、常態化している職員の長時間労働を是正するといった目的も含まれています。 今回の質問によって、日々の業務を見直すヒントになるものと考えますが、本市の取組、対応についてお尋ねいたします。 (1) 生成A Iの導入について (2) オフィス改革の推進について (3) 住民サービスのB P O活用について (4) 情報配信システムの整備について
			2 まちに活力をもたらす地域振興策について 各自治体は、地域の魅力を高めたり、住民の生活を豊かにしたりするための取組を積極的に行っております。そこで重要なのは、専門機関などの協力を得ながら、地元の経済や社会活動をいかに活発化させるかです。特に、企業に対する人材支援、地域における訪日客の周遊促進などの地域振興を図っていかなければなりません。 そこで、本市における今後の地域振興施策についてお尋ねいたします。 (1) 企業に対する人材支援について (2) 地域における訪日客の周遊促進について

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			3 農村地域における課題について 人口減少や高齢化が進む我が国の農村地域の存続に向けて、政府は 2014 年度に新たな食料・農業・農村基本計画を策定しました。同計画を見ますと、認定新規就農者は集落営農の担い手として位置づけ、農業の持続的発展や農村振興への集中的な支援を行うとしています。しかし、農村の振興は生活環境の整備、福祉の向上により図られなければなりません。 そこで、本市が抱える課題として、相続放棄の問題、集落孤立の対策、独自の農地バンク制度などについて、どのような対策を進められておりますか、お尋ねいたします。 (1) 相続放棄対策について (2) 集落孤立対策について (3) 独自の農地バンク制度の取組について
4	9	小 島 雄 一	1 雪害対策について 2 月 4 日から会津地方の上空に流れ込んだ強い寒気の影響により、数日間にわたり断続的な大雪となった。雪に慣れた地とはいえ、集中的な降雪は大きな被害をもたらしている。 そこで、被害の現状と対策について伺う。 (1) 被害の状況、人的被害、建物被害、農業施設等の地区別内容を伺う。 (2) 除雪できない高齢者等の状況、除雪の要請、援助の現状を伺う。 (3) 農業施設の復旧に対する援助をどのようにするのか伺う。 2 喜多方市長期人口ビジョン及び総合戦略について 10 年前に政府が打ち出した地方創生は、一部の成功例を出したものの、全体においては東京一極集中は止まらず、本市を含む地方の衰退は続いている。今回の改定は、10 年間の反省を踏まえ、本市の発展のために重要な改定となる。 そこで伺う。 (1) 現在の総合戦略が十分な効果を上げることのできなかった理由を再度伺う。 (2) 新戦略の基本目標の第 1 に「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」をおいた姿勢は評価するところであるが、簡単ではない。考えを伺う。 (3) 将来の理想像を「力強い産業 人が輝く 活力満ちる安心・快適なまち」とすることに、内容において異論はないが、若い世代の移住・定住を進め、子育てをする理想郷を目指すためには、いささか“かたい”のではないか。考えを伺う。 (4) 人口減少による社会の縮小により、地域の医療が危機に瀕している。再構築が必要であると思うが、考えを伺う。 3 建設事業について (1) 国道 459 号の整備の現状と予定を伺う。 (2) 県道 69 号北山会津若松線金川集落の狭あい箇所の解決、県道 337

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			号喜多方河東線の塩川町区間の整備計画について伺う。 (3) 境見川の令和7年度の整備計画を伺う。
5	12	渡 部 一 樹	1 令和の大合併について 会津地方の持続的な発展のために、まずは市町村長が政策的課題を持ち寄る場の創設が必要と考えるが、市長の見解を伺いたい。 2 当初予算と財政健全化について (1) 厳しい財政状況の中でどの政策分野を重点化したのか伺いたい。 (2) 財政健全化の取組について示されたが、職員の減給や定員適正化への方針について伺いたい。 (3) 公共施設の在り方の見直しについてはどのような方針で取り組むのか伺いたい。 3 豪雪対応について (1) 災害救助法適用を受けての対応状況について伺いたい。 (2) 土日（2月8日、9日）の体制は適切であったのか、見解を伺いたい。 (3) 市職員による除雪支援は法律的な整理や安全確保を十分に行った上で実施されたのか伺いたい。 4 農業政策について (1) 令和7年度の米生産の基本方針について伺いたい。 (2) 気候変動に対する作物の品種改良の状況について伺いたい。 5 映画「日めくりの味」について (1) 映画製作に係る市の協力の状況について伺いたい。 (2) フィルムコミッションの設立に向けて官民協働で取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。
6	5	山 口 文 章	1 消防団について これまで数回に渡り、定例会で消防団の環境改善や装備の充実などについて質問をしてきました。現状の課題解決は、なかなか難しいと感じておりますが、火災・災害は待ったなしに発生します。それらに対応する消防団の支援について伺います。 (1) 現在、火災や災害現場で、消防団員の安全を確保するため、どのような装備やサポートが提供されているのか伺います。 (2) 災害以外の出動で利用できる空調服、ヘルメットライトなどは支給対象になっているのか伺います。 (3) 消防団員自動車運転免許取得事業補助金の過去3年間の実績について伺います。 (4) 令和7年4月から消防団ボート隊が発足しますが、消防団ボート隊の詳細について伺います。 2 救命率の向上について 昨年12月に喜多方広域消防本部で応急手当普及員講習会を受講し、救命救急における初動対応の重要性を再認識してきました。我々にもできる主な応急処置は「心肺蘇生」、「AEDを用いた除細動」、「気道異物除去」の3つですが、講習を受けていないと通常はできな

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			いと思います。 そこで、本市の応急処置に対する取組について伺います。 (1) 市職員（会計年度任用職員含む）を対象とした救急救命講習会の実施について伺います。 (2) 教職員を対象とした救急救命講習会の実施について伺います。 (3) 市有施設のAEDの設置状況・市民の認知度について伺います。 (4) AEDの屋外設置について伺います。 (5) AEDボックスへの傷病者の胸部を覆う三角巾の配備について伺います。
			3 教育行政について 現在、小中学校における教育課題は様々な形で見えてきています。以前の質問で、部活動地域移行や通学路の安全対策などについて伺いましたが、現在の進捗状況や、今季の豪雪の対応について伺います。 (1) 中学校部活動の地域移行について伺います。 (2) 2月の豪雪時における各小中学校の休校判断について伺います。また、登下校時の安全対策について伺います。
7	6	十二村 秀孝	1 民法等の一部改正に伴う本市の対応について 父母が離婚後も子供の利益を確保することを目的として、親権、養育費、親子交流などに関するルールが、2024年（令和6年）に民法等の一部を改正する法律が成立し、改正されました。この改正法は、2026年（令和8年）5月までに施行されます。 そこで、次の2点について伺います。 (1) 別居後、離婚後の別居親の園・学校行事への参加、保護者登録について伺います。 (2) 今回の法改正を受けて、親子交流について、本市では、どのように考えているのか伺います。
			2 地域防災力の充実強化について これまで、消防団を核とした地域防災力の強化の重要性について質問してきました。近年では、災害の多発化、激甚化が進み、消防団を取り巻く環境は重要度を増しています。 そこで、次の2点について伺います。 (1) 消防団活動におけるデジタル技術の活用について伺います。 ア 災害発生時の出動指令等はどのように行われているのか伺います。 イ 活動時間はどのように管理されているのか伺います。 ウ 消防団アプリの導入について伺います。 (2) 総務省の消防団の力向上モデル事業の活用について伺います。
			3 山村留学の取組について 近年、生徒数の減少に悩む学校が、全国から児童生徒を獲得するために様々な趣向を凝らし取組を行っています。また、公営住宅や空き家の斡旋などを行い、親子に移住してもらう親子山村留学も始まっています。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			そこで、次の2点について伺います。 (1) 小中学校適正規模適正配置を検討する中で、山村留学制度の導入について検討なされているのか伺います。 (2) 全国の優良事例にならい、人口減少、地域活性化対策の一つとして地域の特性を活かした山村留学を展開すべきと考えますが、本市の考えを伺います。
8	8	菊地とも子	1 物価高騰対策生活者・事業者支援事業（キャッシュレス決済ポイント還元事業）について (1) 具体的なスケジュールについて (2) この事業で見込まれる市内消費額について (3) より多くの市民参加を促す必要があるが、どのように取り組むのか、考えを伺う。 2 ふくしまプレDCに向けた取組について (1) ふくしまプレDCの期間中、どのような取組を予定しているのか伺う。 (2) 喜多方さくらまつりなどの既存イベントでは、ふくしまプレDC用に工夫をされるのか伺う。 (3) 令和8年のふくしまDCへ向け、今回の取組をバージョンアップさせる必要があるが、考えを伺う。 3 豪雪災害対策について (1) 豪雪による被害状況について (2) 高齢者世帯への支援について 4 带状疱疹ワクチン接種について (1) 带状疱疹ワクチン接種の取組について
9	3	坂内まゆみ	1 小学校における冬期間の体育について (1) 本市の小学校においては、冬期間の体育でスキーの授業を行い、スキー教室を実施しています。昨年、小学校の保護者に対して、スキーの授業についてアンケートを実施したと聞き及んでいますが、どのような内容だったのか、結果はどうだったのか伺います。また、その結果を保護者に公表し、結果を受けてスキーの授業を実施したのか伺います。 (2) 物価が高騰している昨今、スキーや靴、ウェア、小物などのスキー用具をそろえるとなると、一人当たり少なくとも10万円ほどかかります。雪が降らない年は、スキーの授業が少なく、今年のように大雪の年は危険で実施されないこともあります。仮にスキー教室だけ実施されたとしても、スキー用具を準備しなければならず、経済的負担は大きいものです。保護者から教育委員会や学校に対して、経済的負担が大きいとの意見は寄せられていないのか伺います。また、スキー用具の費用負担をする考えはないのか伺います。 (3) スキー用具は子供の成長に合わせて買い替えが必要であり、スキー靴に関しては、経年劣化による危険性もあるため、お下がりも難しい場合があります。スキーの用具をそろえるに当たり、各家庭で

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			どのくらい費用負担が発生しているか、保護者に調査をすべきと思いますが、考えを伺います。 (4) 雪国に住んでいるからこそ、そこでしかできない授業を実施することは、子供の情緒の成長や郷土愛につながるものであり、大切にしていかなければならないものですが、スキーでなくても、スノーバトルや雪像づくりなど、できることはたくさんあります。スキー以外の授業を各学校で選択できるよう、教育委員会として促しているのか、伺います。 (5) 今年度、スキー授業を実施しなかった小学校はあったのか、また、実施しない小学校があったのであれば、その理由と代替した授業内容を伺います。 2 冬期間の通学と学校の樹木について (1) 降雪後、小学校の通学路となっている歩道の除雪がされず、小学校の教員によって除雪されていたり、保護者が車で送迎したりするケースがありました。他市では、学校と連携し、小学校の登下校に合わせて、通学路の歩道除雪をしていると聞き及んでいます。本市においては、こうした連携をされているのか伺います。 (2) 今年のような大雪に見舞われると、徒歩で通うことが難しい場合が多いと思います。子供たちが減少している昨今、本市の宝である子供たちの安心・安全の通学及び保護者の負担軽減のためにも、冬期間の通学支援の範囲を見直すことも必要かと考えますが、見解を伺います。 (3) 第三小学校において、小学校のシンボルである松の木が雪の影響で折れてしまいました。シンボルとなる記念樹のような樹木は各学校にあります。除雪で折れたり倒木したりする話をテレビやニュースで聞いた際に、万一、子供や教職員がけがをしたらと考えると心配でなりません。12月議会でも質問をしましたが、学校の樹木管理について、どのように考えているのか、再度伺います。 3 雪害における共助について (1) 今年のような雪害の際には、隣近所で支え合う共助が大切であります。高齢者の安否確認や子供の通学時の見回り、地域の危険箇所の確認、集落内への支援制度の周知など、自主防災組織の役割が重要視されるものと考えています。自主防災組織の設立について、どのように促しているのか、また、災害の際、自主防災組織を設立した地域とどのような連携をされたのか伺います。 (2) 除雪作業時における痛ましい事故が発生しています。高齢者だけでなく、一人では除雪作業が難しいケースも多く、集落内での助け合いが重要となっています。町内会等で業者に除雪を依頼する際に、費用負担などの支援をしていくべきと考えますが、市の見解を伺います。 (3) 今回の雪害の際に、独居高齢者への見守りは、どのように行われ、民生委員や行政区長等とどのような連携をされたのか伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			4 喜多方ラーメンをはじめとした観光振興について (1) 喜多方ラーメン課・そば課が設置され、様々な取組をされていますが、今年度の成果を伺います。 (2) 観光振興ビジョンにおいて、広域観光と外国人観光客の誘客促進に取り組むとされていますが、喜多方市における外国人観光客数は増加傾向にあるのか伺います。また、インバウンド向けの極上の喜多方ラーメンが開発されましたが、その成果と分析結果、今後の展望を伺います。 (3) 老舗人気店が相次いで閉業している昨今、後継者育成に取り組むことこそが、喜多方ラーメンブランドを維持していくことにつながると考えていますが、市としてどのように考え、計画をしているのか伺います。
10	7	遠 藤 吉 正	1 産業振興施策について 外国人技能実習制度は、我が国で培われた技能、技術または知識を開発途上地域等へ移転することによって、当該地域等への経済発展を担う「人づくり」に寄与することを目的として1993年に制度が創設された。 現在、本市においても多くの技能実習生が学んでおり、該当する産業等においては貴重な人材となっているが、市として現状をどのように捉えているのか伺う。 (1) 本市での技能実習生の状況を把握しているのか伺う。 (2) 技能実習生の課題についてどのように捉えているのか伺う。 (3) 技能実習生の相談窓口体制はどのようになっているのか伺う。 (4) 今後における、市としての各企業や施設等への技能実習制度の支援について伺う。 2 子育て支援について 令和7年度から喜多方市長期人口ビジョン（第3版）及び第3期喜多方市総合戦略がスタートする。人口減少問題を克服するべく、本市の目指すべき将来の方向性を示している。これからも人口減少施策は行政だけでなく、地域が一体となり取り組むべきと考える。 これまでも子育ての視点から一般質問において政策について提言を行ってきたが、今回改めて市の考え方を伺う。 (1) 本市の子供の安全を守るため、災害時における保育所等・幼稚園等・放課後児童クラブの臨時休園等の基準を策定すべきと提案し、検討するとの答弁であったが、どのように検討したのか伺う。 (2) 子育ての姿勢を示すために「喜多方子育て応援宣言」を行うべきと提案、また、会派において同様の内容の要望書を市長へ提出したが、この宣言についてどのように検討したのか伺う。令和7年度から子育てに重点を置くのであれば、本市として子育てを応援する考え方を公に示すべきと考えるが、見解を伺う。
11	2	田 中 修 身	1 学校プールの共同利用の試行について (1) 令和6年度の検証結果について伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(2) 令和7年度の計画について伺います。 (3) 今後の方針について伺います。 2 喜多方市こども計画と市立こども園の再編計画について (1) こども計画の基本理念の基本的な考え方とする「喜多方市人づくり指針」は、「人材の育成」などを目的としています。 「日本国憲法及び児童の権利に関する条約の精神にのっとり、次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる『人格形成』の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長すること」を目的としたこども基本法を踏まえれば、整合性に問題があるのではないのでしょうか。考えを伺います。 (2) 市立こども園の定員を今の半分にすれば、幼児一人ひとりに目の届く、行き届いたきめ細かな幼児教育が展開できるのではないのでしょうか。定員を半分にして存続する考えはありませんか。伺います。 (3) 0歳から1歳児については、年度途中から待機児童が発生しています。喜多方地区に0歳から1歳児を受け入れる公立のこども園がないのは問題です。0歳から1歳児を受け入れることが可能な第三こども園は存続すべきではないのでしょうか。考えを伺います。 3 喜多方市敬老祝金条例の廃止について (1) 廃止の理由を伺います。 (2) 進め方として問題ではないのでしょうか。 ア 老人クラブ等の関係団体との話し合いは実施したのか伺います。 イ 市民に周知して丁寧に説明すること、そして市民の合意と納得が必要ではないのでしょうか。考えを伺います。
12	10	矢 吹 哲 哉	1 運転免許更新における高齢者講習受講料金について (1) 各講習会場での受講料金の違いについて伺う。 ア 高い所と低い所の利用料金を伺う。 イ なぜ利用料金に違いがあるのか伺う。 (2) 市長は、市民を代表し、喜多方・会津地方の高い受講料金の見直し(引下げ)を県に強く求めるべきと考えるが、市長の見解を伺う。 2 喜多方市財政の健全化に向けた取組について (1) なぜ、今、集中取組期間を設定し取り組むのか伺う。 ア 取り組む必要性について伺う。 イ 集中取組期間を3か年(令和7～9年度)とした理由について伺う。 (2) 「財政健全化プラン(仮称)」の策定及び実施について伺う。 ア プランは庁内で策定するのか、それとも市民を交えた委員会等を設置するのかどうか伺う。 イ 「プランの進捗等について市民に公表する」とは、具体的にどのような公表するのか伺う。 ウ 財政健全化の5つの視点について伺う。 (ア) 歳入の確保とは、利用料金、手数料等の値上げを検討することなのか伺う。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(イ) 事業全般の見直しとは、中期財政計画の主な建設事業の見直しの検討なのかどうか伺う。 (ウ) 総人件費の抑制とは、何を検討するのか、職員を削減することなのか、または民間委託なのかどうか伺う。 (エ) 各種補助金等を見直しとは、削減、縮小の検討をするということなのかどうか伺う。 (オ) 公共施設の在り方を見直しとは、民間委託を検討するということなのかどうか伺う。 エ 歳入・歳出の予算規模等について伺う。 (ア) 歳入予算規模目標を伺う。 (イ) 歳出予算規模目標を伺う。 (ウ) 財政調整基金規模目標を伺う。
13	1	渡 部 忠 寛	1 市民生活及び本市財政を豊かにする観光振興について 昨年日本における外国人旅行者（インバウンド）の人数はコロナ禍前を大きく上回り3,700万人を超え、その経済規模は8.1兆円に上っている。また、インバウンド1人当たりの国内消費額は22.5万円であり、5年後の政府の目標値は入り込み6,000万人、1人当たり25.0万円の消費額としている。 近年、都市部及び人気観光地は入り込みが多くて困るといったオーバーツーリズムが続いている中で、地方へのインバウンド入り込みは3割と低く、いかに地方誘客を促進するかという施策について観光庁でも積極的に協議を進めている。 国内の物価高に対する賃金比率の影響により日本人の消費が冷え込んでいる中で、伸びしろの高いインバウンド誘客は極めて重要度が高いファクターである。加えて、地方のインバウンド増加は国内旅行者へも波及し、相乗効果となる可能性が高い。 このような背景の中で、現在の喜多方市は財政力が低迷しており、いわゆる財政収支、財政構造、将来負担比率を鑑みたときに、弾力性のある対応が難しいことは決算状況をみれば明らかで、応ずる議論が高まっているところである。 財政力の低下は、市民サービスはもとより市民生活にも直結し、影響の大きい問題である。この状況下で綿密な予算編成、各事業の整理、地方債発行抑制など、節約や、借入を抑えることも大事だが、一方で資金力を伸ばすことも同時に必要である。生活と同じで、お金がなければ節約する、出資を調整する、手段を切り替える、そして「稼ぐ」は当たり前のこと。 改善手段として、観光はまさしく総合産業といわれ、観光の持続的・継続的な発展は商業、工業、農業、運送業など多くの分野にプラスに作用し、雇用機会の増大、移住・定住やふるさと納税への相乗効果、さらには子供たちの未来にも繋がるものと考えている。 現行の市民サービスを低下させないように、子供たち孫たちに憂いを残すことのないようにしなくてはならない。国や県が提案している

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			施策を上手に活用し、販路開拓や情報発信を含め、喜多方の強みを活かした戦略をしっかりと立てるべきである。さらには、観光発展には他にないのがった特色ある特別な高付加価値化も必要であり、併せて広域との連携など、協力体制をより強化しなくてはならない。 観光立国日本において、まさに観光は「光を観る」と書き言われている。今こそしっかりと舵をとり、伸びしろのある観光振興に注力し加速化し、少しずつでも豊かな街にしていくことが肝要である。 そこで、以下の点について伺う。 (1) 本市の国内旅行者とインバウンドの入り込み数について伺う。 (令和5～6年分) (2) 現在行っている事業と近年の実績について、総合計画どおりに進んでいるか。また、本市のインバウンド受入体制整備支援事業及びインバウンド誘客PR事業の効果について伺う。 (3) 国や県が支援する観光関連事業について、本市はどのように選択し、どの程度実施しているのか、申込状況とその効果について伺う。 (令和4～6年度分) (4) 現在、観光客を呼び込むための施策について、どのような手段を講じているのか伺う。(国内、国外) (5) 国内及び国外の宿泊者数と消費額について伺う。(平成30年度及び令和4年度分) (6) 観光行政における職員の研修や先進地視察について伺う。(令和4～6年度分) (7) ふくしまプレDC(デスティネーションキャンペーン)の準備状況について伺う。 2 工事等の入札における地域要件及び参加資格について 本市の入札においては、概ね制限付一般競争入札(最低価格落札方式)をとっており、その地域要件における参加資格は、対象金額が一定額を超える入札については原則として「市内業者」としている。ただし、工種の専門性や特殊性から扱える市内業者数が少なく競争性が確保できない場合は、準市内業者を含めることや地域要件を拡げることとしている。 本市における「市内業者」とは、市内に本店または支店もしくは営業所等(以下支店等)を有する者としている。 一方、会津若松市における「市内業者」については、市内に所在する本社または本店を登録する業者である。準市内業者については、市内に支店等を登録する業者としており、明確な区分がなされている。入札参加資格は、本市と同様に原則「市内業者」としている。 本市の入札資格については、開設してから継続して10年を経過している業者及び直近の法人市民税の確定申告等における本市分の従業員数が2名以上という要件がある。本来、支店等については、営業日に市内で事業を行っていることがあるべき姿と考えるが、支店等の中には看板がなかったり、電話をかけてもすぐに転送がかかったり、

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			従事者が常駐していないなどといった活動が不透明な事業所があると聞いている。 そのような中で、令和4年8月の激甚豪雨災害や今年の災害救助法が適用される豪雪災害があった。今後、気候変動の深刻化により、豪雪や豪雨・土砂災害の規模や回数がますます増加する恐れがある。こうした自然災害に当たっては、応急復旧やその後の本格復旧に多くの地元建設業者や建設関連業者、測量設計業者等の協力が不可欠であり、ほとんどの地域で地元業者が昼夜を問わず先駆的に作業を行って、自治体の災害対策業務の迅速な実施に大きく貢献している。これら地元業者の災害対応力を将来にわたって確保していくことが極めて重要である。 一方で、近年の公共事業縮減に伴う受注競争の激化により、地元の建設業者はもとより建設関連業者、測量設計業者は疲弊しつつあり、災害復旧で協力支援するための企業体力が損耗してきている業者もあると聞いている。したがって、将来においても不可欠となる地元業者の協力支援を得ていくためには、地場の業者が存続するように努めなければならない。 加速する人口減少、人材不足、頻発化する自然災害等の状況下で地元の技術者が活躍し、真の地元企業と行政が二人三脚で歩んでいかななくてはならない。 これらの状況を鑑み、以下のように提案し、変更すべきと考えるが、市の見解を伺う。 (1) 市内事業者の入札要件について この要件については、市内に本店がある事業者とは別に、支店等については開設から10年が経過していることに加え、直近の法人市民税納税（1年分）の証明があればよいとされている。しかしながら、本税は毎年納付すべきである。 市内に根を下ろしている業者であれば継続した納税がなされているはずであり、入札に当たっては、開設から現在までの納税証明とするように要件を変更すべきと考えるがいかがか。また、隣市や他自治体の入札要件を参考に、地場の事業者が活躍できるように見直してはいかがか。 (2) 実態が不明確な事業者の把握、適正化について 会津若松市の要綱では、「市長は、有資格者が入札審査申請した内容に疑義が生じたときは、当該有資格者の事業所の所在、営業活動の実態などについて調査することができる」としている。本市においてもこのように基準規定に加えてはどうか。 (3) 配置技術者について 配置技術者についても、法人市民税の確定申告等の従事者に該当する者であることが本来のあるべき姿と考えるがいかがか。また、支店等においても従事者名簿のとおり常時従事している必要があるはずだが、市の調査内容とその見解について伺う。

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			(4) 入札参加資格について 本市が発注する建設工事等においては、格付等級によって入札可能範囲が制限されている。本来、地元業者を守るために配慮されたものが、近年では700点未満という制限のかかった入札が多く、市内での受注が難しくなっている業者もある。このような業者は、当該年度の収益が低下するだけでなく、工事等の実績が積めない状況にあると次年度の入札資格が無くなる場合がある。 例えば、会津若松市であると350点以上の業者に資格があり、多くの業者が参加できるため、より公平性が高い入札方式といえる。業者によっては次年度以降の経営に影響することが危惧されることから、入札制限の方式を再考すべきと考えるが、市の見解を伺う。
14	15	齋藤勘一郎	1 地上デジタル放送難視聴地域（共同アンテナ組合設置）について (1) 市内全域における共同アンテナ組合設置の実態はどのようなになっているのか。旧市町村毎に組合数、構成行政区数及び加入世帯数について伺う。 (2) アナログ放送からデジタル放送に変わり、早く整備した組合では15年以上経過し、器具の老朽化や故障等で受信不能となり、修理、整備を実施したという事例はなかったのかどうか伺う。 (3) 既存設備の老朽化に伴う更新について、どのような補助事業があるのか伺う。 2 令和7年2月の豪雪被害について この度の豪雪は、2月4日から9日まで連日の大雪となり、1963年（昭和38年）以来62年ぶりの災害救助法の適用ということで、人的被害や市民生活への影響が発生しており、除排雪には多大な労力と費用を費やしたと思われる。 本市では、2月10日に雪害対策本部と現地対策本部を設置し対策を講じているが、以下の点について伺う。 (1) 市内農業用パイプハウスの倒壊及び格納農機具の被害状況を伺う。 (2) 市内農業施設及び農作物の被害状況を伺う。 (3) 今後の被害対策の取組について伺う。
15	4	高畑孝一	1 2026年全国市町村交流レガッタ喜多方大会への取組について (1) 大会へ向けてどのような組織体制で臨むのか。また、そのスケジュールはどのようなになっているのか明らかにされたい。 (2) 参加チームだけではなく、市全体で盛り上げ、地域の活性化に寄与し、大会後もその効果を広げるために、どのような企画をされているのか伺います。 (3) 荻野漕艇場の改修工事内容と工事時期を明らかにされたい。また、今年の喜多方シティレガッタや、来年の大会に向けた練習に支障のない日程となるのか伺います。 (4) レガッタで使用するボート・オールは重量があり、運搬に苦勞す

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			ると聞き及んでいるが、これを更新する予定はあるのか伺います。 (5) 2007 年 9 月に本市で全国市町村交流レガッタ大会が開催され、その後「ボートのまち宣言」が行われています。この前文に次のような記載があります。「ボート場の有効活用が、喜多方市全体への経済的波及効果の可能性を示したものであり、今後の地域活性化策に、明るい見通しを与えてくれました。本市は、このボート場と喜多方の魅力ある地域資源を活用し、人と地域の交流を促進しながら経済的な地域活性化に結びつけるとともに、ボートを通して健やかな心と身体を育み、新たな賑わいを創造しながら、元気で活力に満ちたまちを実現する『ボートのまちづくり』を推進します」と。 そこで伺います。 ア この大会以降、この前文に則した市としての取組がどのようになされてきたのか。特に、ボート場がある高郷町の経済も含めた活性化の取組について、どうであったのか伺います。 イ さらに、来年の大会を契機として、高郷町に対してどのような展望を描くのか、具体的に示されたい。 (6) 前記(5)で紹介した前文には、次のような記載もあります。「艇庫には『スポーツの宮様』として多くの国民に敬愛された秩父宮親王御愛用のシングルスカルが、展示されています」と。 しかし、今回の議会だより取材時のお話では、現在展示されていない状態であるとのことでした。そこで、交流レガッタ喜多方大会へ向けて、改めて展示を見直す考えはあるのか伺います。 2 地区集会所の管理運営支援と行政区長の代理代行について (1) 地区集会所は地域の皆さんが経費を負担し、光熱費等の管理費を賄っていますが、この諸経費も物価高騰により増加傾向にあります。よって、月々の支払いとなる光熱費、上下水道代等の管理費支出軽減のため、市からの補助金を要請するものです。 なお、この補助金は少人数の行政区に配慮した制度となるよう考究していただきたいと考えますが、いかがか伺います。 (2) 行政区長が仕事等でその任に就けない時は、代理がその職務を代行することとなりますが、この代理代行について市当局から「代理の職務代行は避けてほしい。区長が出席・要請・申請等をしてほしい」との補足要請があると聞き及んでいます。これが本当であれば、仕事をしながら区長の任についている方には大きな負担となってしまいます。よって、区長の代理代行に関して、市当局の見解をお伺いいたします。
16	21	山 口 和 男	1 財政再建について (1) 中期財政計画の大幅見直しについて (2) 事業の先送り、凍結、中止について (3) 「財政健全化プラン（仮称）」の策定期間中における、近年続く大幅な基金繰入れの解消について (4) 削減する事業について